



厳粛に行われたアイヌ民族慰霊祭

洞 湖
アイ
ヌ協会(妻
木征男会
長)は、
9月27日、
平成27年
度洞湖湖

町アイヌ先住民族慰霊祭(カムイノミ・イチャルパ)を、歴史公園にある先住民族慰霊碑前で行いました。同協会の会員や行政、議会、教育関係者ら約25人が参加して先祖の霊を慰めました。

今年、洞湖アイヌ協会の妻木会長が祭司を務めてカムイノミ(神への祈り)を行い、火の神、幣場(ヌサバ)を司る神、家の守り神それぞれに祈りを捧げ、イチャルパ(先祖供養)では、女性らが先祖の霊に供物を贈りました。

最後に妻木会長が「アイヌ民族の誇りを持ち、文化の普及、保存に向けてこれからもがんばっていききたい」と挨拶し、慰霊祭を終了しました。

神への祈りと先祖供養 アイヌ先住民族慰霊祭

芸術祭「絵画展」 胆振管内から39点出品

第39回道民芸術祭・第46回胆振芸術祭「絵画展」(北海道文化団体協議会主催、胆振文化団体協議会など共催)が、9月25日~27日までの3日間の日程で、あぶた体育館を会場に開催されました。

苫小牧市、伊達市、洞湖町など胆振管内7市町から、油彩画、水彩画、アクリル、日本画など39点が出展されました。

町内からは、菊地由利子さんの油彩画「動」(100号)や



あぶた体育館で開かれた絵画展

杉山フジオさんのアクリル画「表と裏」(30号)など7点が出展されました。

魚道を元気にするサクラマス 財田自然体験ハウスの観察会

産 卵の季節を迎えた9月27日、財田自然体験ハウスの特別企画「サクラマス観察会」が行われ、洞湖から町内のソウベツ川に遡上するサクラマスを観察しました。

同ハウスからフットパスコースを歩いて、遊歩道のそばにあるえん堤まで移動。同職員の後藤さんからクイズ形式の説明を受けた後、魚道の近くや川に降りてサクラマスを真近に観察しました。

室蘭市から参加した男性は「元気に上っている姿を近くで見られてよかった」と満足そうな表情を浮かべていました。



魚道を上るサクラマスを観察する参加者

平成27年度秋の全国交通安全運動が実施されている中、9月29日



旗を振って交通安全を呼びかける児童たち

虻田、洞湖、洞湖温泉の3地区で、黄色い旗を振り交通安全を道行くドライバーに訴える黄色い旗の波運動が行われました。

虻田地区では、あぶた体育館前に、交通安全協会の皆さんや虻小児童、自治会関係者、ライオンズクラブなど約150名が集合。同体育館前の国道37号に並び、黄色い旗を振りながら交通安全をアピールしました。

街頭運動の前に行われた開会式では、真屋町長が「交通事故に気をつけて、交通事故ゼロの町をめざしましょう」と挨拶しました。

黄色い旗の波運動 町内3 地区で交通安全をアピール



まちのわだい